

2018年度予算

区民の運動と共産党区議団の提案が区政を動かす

区政の大もとを変えるため がんばります

党区議団は昨年9月、港区長に対し2018年度予算要望書を提出しました。今回の予算案の中には、これらの提案が一定盛り込まれました。しかし、区民生活がますます苦しくなっているにも関わらず、市街地再開発に67億円もの補助金を出すなど、いっそう巨額な無駄づかいを進めようとしている（裏面参照）。ここでは、区民の運動と党区議団の提案で予算に盛り込まれた主な内容を紹介します。

●町会等活動支援

2317万円
【事業内容】◆町会・自治会活動を支援するため、活動応援個別プログラム及び活動の魅力伝える冊子等を作成。
 ◆会員数150名以下の町会・自治会が実施する共同事業の経費（50万円上限）を補助します。

●区内共通商品券発行支援

7240万円
【事業内容】◆新たに発行される小規模店舗に使用を特化した商品券のプレミアム分と運営・発行経費の一部を補助。
 ◆生鮮三品店舗を中心に、区内商店会会員店舗の整備更新、備品購入に係る経費の一部を補助します。

●赤坂中学校改築と仮設校舎設置

17億703万円
【事業内容】◆赤坂中学校の老朽化等の対応及び隣接の中之町幼稚園、赤坂小学校を含めた教育環境充実のため、改築に向けた実施設計及び改築工事を実施します。
 ◆改築工事を実施するため、改築までの間、仮設校舎を設置します。

●予防接種事業と区民検診各種がん検診の充実

22億5219万円
【事業内容】◆子どもを麻しんの感染から守るため、法定接種を受けていない2歳児以上18歳以下の区民を対象に任意接種費用を助成するとともに、0歳児の保護者等を対象とした任意接種費用等を助成します。
 ◆働き盛りの世代の健康を守るための30（さんまる）検診や骨粗しょう症検診を港区指定医療機関で実施します。
 ◆働く人たちのライフスタイルを踏まえたハンドブックを作成します。
 ◆大腸がん、胃がん、肺がん、咽頭がん、前立腺がん等の受診期間を5か月から7か月に延長します。

●南麻布四丁目福祉施設整備

8億7013万円
【事業内容】◆特別養護老人ホームの整備・運営事業者に委託して整備する公設の福祉施設（障害者支援施設、児童発達支援センター）について、建築工事等を実施します。
 ◆平成32年3月開設予定
 ・特別養護老人ホーム
 ・障害者支援施設（入所施設）
 ◆平成32年4月開設予定
 ・児童発達支援センター

●（仮称）芝浦第二小学校整備と芝浦小学校校舎増築

6億7200万円
【事業内容】芝浦地区の児童数増加に対応するため、（仮称）芝浦第二小学校整備に向けた実施設計を実施し、開校するまでの間、仮設校舎を設置します。

●集合住宅共用部のLED照明設置費助成

4807万円
【事業内容】集合住宅共用部のLED照明設置費の一部を助成するとともに公算エネルギー機器等の導入に助成します。

●交通不便地域への新規交通手段の導入

443万円
【事業内容】交通不便地域における高齢者等の移動を助けるため、白金・白金台地域で新規交通手段のモニター実験を実施します。

●港区子ども家庭総合支援センター整備

1億1382万円
【事業内容】◆（仮称）港区子ども家庭総合支援センター（南青山5丁目）の整備に向け、基本設計及び実施設計を実施する。
 ◆人材育成や施設の事業計画の策定、地域を含めた連携体制の構築、区民への普及啓発に取り組みます。

●にぎわい商店街事業

1億7100万円
【事業内容】◆空き店舗を活用した事業の補助対象経費に人件費を追加する。
 ◆地域団体と商店街が連携して実施するイベントの経費の一部を補助します。

●郷土歴史館開設準備事業

1億9380万円
【事業内容】郷土歴史館を平成30年11月から開館するため、収蔵資料の移行作業を行い、公開に向け収蔵物管理システムを構築します。



日本共産党 港区議員団ニュース 2018年3月号外（2018年度予算特集）
 港区芝公園1-5-25 TEL 3578-2945~6
 ホームページ <http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp>
 港区議団 検索

裏面に続く

予算案に対する態度表明（要旨）

日本共産党港区議団

安倍政権のもとで格差が拡大している。労働者の実質賃金は5年前に比べ平均14万円も減。国民健康保険の滞納世帯は27%、介護保険料の滞納も30%と高い水準。

国保料は、4月から介護分も含めた平均保険料は184、646円と9、333円も引き上がる。保育園の待機児童は、旧基準で1、527人。園庭の無い又は都基準を満たしていない保育園は、74%にもなる。

予算の中には、町会等活動支援など区民要望が前進した部分もある。しかし区は、社会保障の改悪中止を国に求めず、高い介護保険料の引き下げも行おうとしない。

一方で森ビルなどの市街地再開発事業へは、来年度67億円も税金投入し大規模開発をさらに進めていく。区内に古くから住んでいた人が追い出され、個人商店は半分に減っている。

200を超える区施設の運営管理を民間丸投げし拡大した。区の施設運営のノウハウがなくなっている。

予算4案には反対する。私たちが出した予算修正案に賛同願いたい。

「森友学園」文書改ざんの真相解明を求める意見書 共産党が提案 自民党などが合意せず

ここ数日のマスコミ報道で、国民の大きな関心となっている、「森友学園」への国有地売却に関する決裁文書の「改ざん」は、政府・財務省が改ざんがあったと認めました。

共産党区議団は、議会として真相解明を求める意見書を出そうと、意見書案を提案しました。

ところが、自民党などが合意せず、意見書はまとまりませんでした。

1142万円

● **防災行政無線難聴対策**
 【事業内容】災害時に区民へ防災情報を確実に伝達するため、280メガヘルツ帯防災ラジオの配布を港区在住の世帯（住民登録世帯）で、防災行政無線での情報の入手が困難な世帯へ拡大します。
 ※自己負担千円（非課税世帯は無料）

5億2304万円

● **保育施設誘致促進事業**
 【事業内容】◆保育待機児童解消に向け、私立認可保育園等の設置促進を図るため、保育園開設に係る整備費や開設前賃料を補助します。
 ◆平成30年4月開設
 ・私立認可保育園
 ・（仮称）ふたばクラブ港南保育園
 ・（仮称）コスモス西麻布保育園
 ・小規模保育所
 ・（仮称）こころ保育園西麻布
 ・（仮称）正光寺保育園赤羽橋園
 ・（仮称）こころナーサリー新橋
 ・（仮称）ちやいると・はっぴっぴ
 ・!!白金保育園
 ・（仮称）ふらわあきつず保育園
 ・新橋事業所内保育事業所
 ・（仮称）ポポー東京表参道園
 ◆平成30年5月開設
 ・（仮称）西麻布3丁目そら保育園
 ◆平成30年7月開設
 ・（仮称）高輪さつき保育園
 ◆平成30年度開設
 ・（仮称）ゆらりん港南緑水保育園
 ◆平成31年度開設予定
 ・（仮称）はとバス港南ビル認可保育園
 ・（仮称）小鳩ナーサリースクール
 ・濱離宮

968万円

● **旧協働会館保存・活用事業**
 【事業内容】区指定有形文化財である旧協働会館について、伝統文化の継承や地域活動、交流の拠点として活用するため、改修工事を実施。
 <開設予定> 2020年4月

入学準備金 引き上げ方向

党区議団は新入学学用品・通学用品費を国通知以上に引き上げるよう繰り返し質問してきました。

新入学の準備金として、現在小学生は 20,470円を支給
 →40,600円(国の通知額)

中学生は 23,550円支給
 →47,400円(国の通知額)

予算委員会でも質問した結果、教育長は、「経済的支援のさらなる充実が必要と考えている。支給額の検討をさらに進め、早期にその結果を示す」、「引き上げた場合は、平成30年度入学者は、差額分を支給する」と答弁をしました。実現へ大きく前進しました。党区議団は、一日も早く実施するよう引き続き頑張ります。

1572万円

● **家具転倒防止対策等促進**
 【事業内容】震災時に自宅だけが揺れないため、世帯構成人数に応じた家具転倒防止器具等助成限度額の増、助成済み世帯へ防災用品あつせんパンフを送付。

6億2586万円

● **建築物耐震改修等促進**
 【事業内容】住宅の耐震性の向上や建築物の倒壊による道路の閉塞を防ぐため、木造住宅や分譲マンション等の民間建築物に対する耐震化を支援します。

2889万円

● **全国連携による再生可能エネルギー活用**
 【事業内容】環境にやさしい再生化のエネルギーについて、区民、事業者へ普及啓発を図るため、地球温暖化を防止へ、平成29年度の調査結果を踏まえ、再生可能エネルギーによる電力供給の可能性のある自治体を対象に、具体的な導入準備・手続きを進めます。

56億1700万円

● **港区保育室事業**
 【事業内容】◆待機児童対策のため、民間ビルの活用などにより港区保育室を開設するとともに、保育定員を拡大します。
 ◆【新規開設保育室】
 ・（仮称）芝公園二丁目
 ・（仮称）南麻布三丁目(増築)
 ・（仮称）三光
 ・（仮称）白金三丁目
 ・（仮称）白金台
 ・（仮称）新橋
 【定員拡大保育室】
 ・芝五丁目・南麻布三丁目
 ・青南・第二青南・志田町、
 ・たまち・芝浦橋・五色橋
 芝五丁目保育室は、平成30年9月に(仮称)新橋保育室へ移行

4億763万円

● **建築物耐震改修等促進**
 【事業内容】元麻布二丁目用地に整備する(仮称)元麻布保育園の開設に向けて、新築工事及び運営事業者の選考を行います。

1億1225万円

● **（仮称）元麻布保育園整備**
 【事業内容】◆だれもが安全で快適に利用できるトイレを提供するため、老朽化した公衆トイレについてバリアフリー基本構想に基づき建替工事を実施します。
 ◆バリアフリー対応の「誰でもトイレ」を整備します。
 <整備箇所> 氷川神社前
 ・権田原・三田綱町児童遊園

● **快適な公衆トイレの整備 児童遊園トイレの整備**

共産党議員団が提案したシルバーパスの制度改善を求める意見書が全会一致で可決。購入費は所得に応じた細分化を求め、「ゆりかもめ」にも利用拡大を東京都に求める意見書です